

私事ですが、先日引っ越しをしました。引っ越し、というか住み替えは嫌いではなく、転勤族でもないのに成人してから5回くらい引っ越しをしていて、自分仕様の引っ越しマニュアルを作成しているくらいです。今ではインターネットで住所変更手続きができるものがほとんどですし、中には公共料金など数社で何度も住所入力する手間を省いて手続きできるサイトもあり、ラクになったなあと思います。一方で、年々カードや口座をはじめ、各種サービスに登録している件数が増えていき、気が付けば住所変更が必要なものが数十件にもなっていました。1つ1つはラクになってもトータルでかかる手間はかなりのものになり、正直面倒くさいなあと思います。引っ越しはいろいろと整理する良い機会。そこで、思い切って登録しているサービスの見直しをしようと思い、たとえば年会費がかからないからとなんとなく持っているクレジットカードや、キャンペーンに惹かれて作った口座などいくつか解約しました。また、毎回いろんなものを処分しているつもりですが、それでも前回

の引っ越しから一度も日の目を見なかったものがけっこうあります。今回は不要になった物の一部をインターネットのリサイクル用掲示板に初めて載せてみました。すると無事引き取り手が見つかり、「これは使える」と早速引っ越しマニュアルをアップデートしておきました。数点は粗大ゴミに出すため粗大ゴミ処理券を貼って外に置いておいたのですが、しばらくして改めて外に出てみたところ、収集業者も来ていないのにいくつかわなくなっており、もう1点もまさにもらわれていくところでした。「粗大ゴミ処理券を貼る前にしばらく外に出して様子を伺うこと」、そう引っ越しマニュアルに追加しようと思いましたが、やめておきました。

自分なりに蓄積した経験をまとめ、それが今でも有効なのか見直し、新たなことも試して情報をアップデートしていく、普段の仕事でこそ実践しなくてはいけないことだな、と引っ越しマニュアルの前に思いました。

(長澤有由子/規格部門)



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.51 No.5 (May 2010)

【一般論文】

- 定量的管理指標の利用実態調査～あるソフトウェア開発組織を対象として～ 伏田享平 他
- アントコロニー最適化におけるモデル化に依存する探索バイアスの抑制* 大谷隆浩 他
- DynamicIcon: 楽曲の音響的特徴に基づく動的アイコンの自動生成手法 宮崎麗子 他

■ 任意の言葉を対象とした音韻印象変換作用素の構成とその感性検索への適用 本間秀典 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note

平成 22 年度通常総会の開催について

会長 白鳥 則郎

平成 22 年度通常総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、5 月上旬頃に法律上の社員である代表会員に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 平成 22 年 5 月 31 日 (月) 16:00 ~ 18:00
- 会 場 如水会館 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-1)
- 次 第
1. 平成 21 年度事業報告および決算
 2. 平成 22 年度事業計画および予算
 3. 会費滞納会員の取扱い
 4. 名誉会員の推挙
 5. 平成 21 年度功績賞、論文賞、喜安記念業績賞、長尾真記念特別賞の発表と表彰
 6. 平成 22 年度役員改選
 7. 一般社団法人への移行に伴う定款の追加変更

※総会終了後、懇親会を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「e-サイエンスを実現するグリッド技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- グリッドは今後重要なサービスになると考えられる。そのセキュリティや信頼性、性能の実現方式などに関しても興味深い。(川上明浩)
- 大学間連携グリッド基盤の運用についての解説を興味深く読ませていただきました。技術的問題以上に各機関の運営ポリシーのすり合わせがネックになるという点は、複数の教育機関で連携するプロジェクトでは共通した課題だと思います。情報科学の研究者としてこの手の問題にどのようにアプローチすべきか、難しいですが重要な問題だという実感を持ちました。(長瀧寛之)
- 地球規模の各種問題をシミュレーションによって解析するのに、サイエンスグリッド環境は有効な利用形態だと感じた。(匿名希望)
- グリッド技術とクラウドコンピューティング技術を混同していましたが、以前のクラウドコンピューティングの特集とともに読んだことで整理することができました。(匿名希望)
- 「大学間連携グリッド基盤の運用」は、対象となる読者や伝えたい内容をきちんと分析・設定して、必要な共通知識を確認した後に本題に入るなど、会誌の記事としての役割に適った逸文だと感じた。今後記事を書く方々は参考にしてほしいと思う。(匿名希望)
- 今後のグリッド技術に関するさまざまな展開に期待します。(匿名希望)
- グリッド・コンピューティングのように組織をまたがるシステムには、技術は当然のことながら、運用のための仕組みが必要である。そのような連携が十分な力を発揮し、快適に利用できるようにするにはどうしたらよいのかと思う。(匿名希望)
- グリッド技術の解説がサイエンス分野ということもあり、この技術をうまく使った成果例などがなく、どのような対象にどのように使えばよいか分からなかった。(阪本俊幸)

■グリッドの特集は良かったと思います。ただ、以前からある分散環境における技術との違いが今ひとつ理解できませんでした。(匿名希望)

■グリッド技術は、超分散で難しい技術だと思っていました。分かりやすいチュートリアルや解説記事を希望します。(匿名希望)

■全体的に、具体性が欠けていたように思います。(匿名希望)

解説「コンピュータサイエンスによる物流トラックの温室効果ガス排出削減」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■具体的事例として分かりやすかったと思います。ITでエコとよく言われていますが、実際のところITを活用することでエコになるのかと疑問に思っていました。それに対して、経路最適化などを活用して、効率よく物流トラックを運用するといった具体例でしたので、「なるほどな」と思う内容で良かったと思います。(匿名希望)

■テーマがとても新鮮で興味を持った。一見、関係のなさそうなところにこそ面白いテーマが潜んでいるものである。今後、同様の取り組みが増えることが期待される。(匿名希望)

■実学に即して興味深かったです。脚注にある「扱わなかった問題」というのが気になりました。見方を変えると、こうした対象とする問題の切り分け方が実は重要なのではないかということに気づかされました。(匿名希望)

コラム「"I" 見聞録 これまでの "I" 見聞録と今後の予定について」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■連載の主旨も述べられずにいきなり開始されたコラムであったが、ようやく主旨やタイトルの意味を理解できた。本来なら初回にすべきであったように思う。(匿名希望)

■「専門的すぎる内容を含む」という認識があるのでしたら、Web など別の場でレポートされるのがよろしいと考えます。技術的価値は理解しますが、会員全体に対してはどうなのでしょう。(千葉一博)

トピックス「情報処理学会の新たな50年に向けて一創立50周年記念(第72回)全国大会のご案内」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■創立50周年(第72回)全国大会は、ごく一部しか参加できなかった。特に“CHANGE! Yes, we can! ~” パネル討論会の報告をお願いしたい。(匿名希望)

■全国大会の案内に、全体スケジュールが一目で分かる目次(インデックス) ページがあると良かったと思います。(匿名希望)

■校正したほうがよろしいところが散見されました。
(千葉一博)

「IT 実践分野のための新しい論文誌：デジタルプラクティス創刊について」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■デジタルプラクティスの創刊が、情報処理に関する議論の要になる可能性を期待します。情報処理システムの進展の方向を垣間見せるグリッドの説明は、参考になります。(巫 召鴻)

■「IT 実践分野のための新しい論文誌」は大変興味深い内容でした。今後も新しい分野を研究している方たちの情報交換ができるようなコミュニティを形成していただけたらと思います。(匿名希望)

■デジタルプラクティスについて、今まで学会ではこのような話題はあまり取り上げられてこなかったので、実践的な内容の話が聞けることを期待しています。(匿名希望)

■「デジタルプラクティス」は、会誌に同封されていましたが、通常の論文誌と同じように会誌とは別に講読するようにした方がよいと思います。会誌と論文誌は、性質を異にします。(水野光朗)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■「情報処理技術遺産」は歴史的価値のある計算機を紹介するため非常に興味があるのですが、機器の仕組みに関する解説が中心のため、現物を見聞きしたことがない機器だと現

実感が少なく、いまいちピンとこないというのが正直なところです。個人的には、紹介された機器がなぜ作られるに至ったかの歴史的経緯や、今日の情報処理に対してその機器の果たした役割などについて、前提知識としてより詳しく知りたかったです。(長瀧寛之)

■「情報システム開発標準におけるトレーサビリティの事例と今後」は興味深く読みました。プロセスの両方向のトレーサビリティを実現した具体的事例を読みたいです。また、単なる開発標準の説明でなく、企業において ISO 9000, 15000, 27000, CMMI, COBIT 等のさまざまな標準をどのように実装し、効果あるものになっているか、事例を知りたいものです。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■最先端の情報技術研究のロードマップを取り上げてほしい。(祖父江真一)

■素因数分解の新記録が出たとのニュースを耳にしました。今後の予想を含めた状況の報告をお願いします。(匿名希望)

【本欄担当 中里克久、加藤 豪／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2010年				
	論文誌「多様な価値を創出する情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-V.html	5月17日(月)		
	論文誌「マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシステム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-T.html	5月17日(月)		
	論文誌「分散処理とネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-W.html	5月24日(月)		
	論文誌「仮想化時代のインターネットと運用技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-R.html	6月7日(月)		
	論文誌「インタラクションの基盤技術, デザインおよび応用」特集, 「インタラクションの基盤技術, デザインおよび応用(テクニカルノート)」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-PQ.html	6月21日(月)		
5月15日(土)	北陸支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			金沢工業大学扇が丘キャンパス
5月17日(月)	東海支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			ルブラ山山(名古屋市中千種区)
5月19日(水)	東北支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			東北大学
5月19日(水)	第130回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL130.html	3月17日(水)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
5月19日(水) ~ 5月20日(木)	第145回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM145.html	3月17日(水)	当日のみ	北九州国際会議場
5月20日(木) ~ 5月21日(金)	第143回マルチメディア通信と分散処理・第54回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DPS143MBL54.html	3月15日(月)	当日のみ	沖縄産業支援センター
5月20日(木) ~ 5月21日(金)	第76回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GN76.html	3月20日(土)	当日のみ	早稲田大学西早稲田キャンパス
5月21日(金)	中国支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			広島大学 東千田キャンパス
5月21日(金)	第78回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MPS78.html	3月26日(金)	当日のみ	群馬大学 荒牧キャンパス
5月22日(土)	第86回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH86.html	3月15日(月)	当日のみ	大阪大学豊中キャンパス
5月22日(土)	第104回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE104.html	4月2日(金)	当日のみ	長野大学
5月24日(月)	関西支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			京都産業技術研究所 工業技術センター
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第26回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.mkg.sfc.keio.ac.jp/UBI/seminar-26.html		当日のみ	はこだて未来大学(函館市)
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2010) http://www.hpcc.jp/sacsis/2010/	1月19日(火)	5月6日(木) 早期申込締切日	奈良県新公会堂
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第172回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM172.html	3月5日(金)	当日のみ	名古屋工業大学
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第85回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS85.html	3月26日(金)	当日のみ	東北大学 大学院工学研究科
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第196回自然言語処理・第81回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL196SLP81.html	4月6日(火)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月28日(金)	第48回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EIP48.html	3月22日(月)	当日のみ	電気通信大学
6月1日(火) ~ 6月2日(水)	第168回ソフトウェア工学・第17回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE168EMB17.html	4月7日(水)	当日のみ	化学会館 会議室
6月5日(土)	第112回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IS112.html	4月3日(土)	当日のみ	國學院大学
6月14日(月) ~ 6月15日(火)	第79回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO79.html	4月14日(水)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
6月14日(月) ~ 6月16日(水)	International Workshop on OpenMP 2010 (IWOMP2010) http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/workshop/IWOMP2010/			つくば国際会議場
6月17日(木)	第125回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC125.html	4月16日(金)	当日のみ	東京大学 理学部7号館
6月18日(金) ~ 6月19日(土)	第21回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/BIO21.html	4月16日(金)	当日のみ	琉球大学50周年記念館
6月25日(金)	第24回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GI24.html	4月23日(金)	当日のみ	奈良女子大学理学部 会議室
7月1日(木) ~ 7月2日(金)	第50回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CSEC50.html	5月10日(月)	当日のみ	弘前大学
7月7日(水) ~ 7月9日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2010) シンポジウム http://www.dicomo.org/2010/	3月12日(金)	6月上旬	下呂温泉 水明館

*論文募集, 参加申込の詳細は
近日中にお知らせします.

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月10日(土)	第105回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE105.html	5月24日(月)	当日のみ	大阪電気通信大学
7月16日(金)	第10回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOT10.html	5月10日(月)	当日のみ	東京海洋大学 品川キャンパス
7月19日(月)～ 7月23日(金)	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/	1月31日(日)		韓国 ソウル
7月30日(金)～ 7月31日(土)	第139回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/2010/07/201007300946.html	5月28日(金)	当日のみ	小浜温泉伊勢屋旅館
8月3日(火)～ 8月5日(木)	2010年並列/分散/協調処理に関する『金沢』サマーマークワークショップ (SWoPP 金沢2010) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SWoPP2010.html	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月30日(月)～ 8月31日(火)	平成22年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2010/index.html	6月28日(月)		中部大学春日井キャンパス
8月30日(月)～ 9月1日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2010 (SES2010) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html	4月30日(金)		東洋大学 白山キャンパス
9月2日(木)～ 9月3日(金)	DAシンポジウム2010 -システムLSI設計技術とDA- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html	5月7日(金)		ホテル日航豊橋
9月7日(火)～ 9月9日(木)	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			九州大学伊都キャンパス
10月2日(土)	第106回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE106.html	8月16日(月)	当日のみ	秋田大学
11月20日(土)～ 11月21日(日)	第107回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html	10月4日(月)	当日のみ	香川大学
11月22日(月)～ 11月24日(水)	IWSEC2010 : 5th International Workshop on Security http://www.iwsec.org/2010/	4月30日(金)		神戸コンベンションセンター
2011年				
2月5日(土)～ 2月6日(日)	第108回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
3月2日(水)～ 3月4日(金)	第73回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月19日(土)～ 3月20日(日)	第109回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html	1月31日(月)	当日のみ	神戸大学
3月23日(水)～ 3月25日(金)	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011) http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			東京サピアタワー
2012年				
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■ 4月2日 [プレスリリース] 情報処理学会が日本将棋連盟に「コンピュータ将棋」で挑戦状

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■北海道大学情報基盤センター

募集人員 教授 1名
所属 メディア教育研究部門
専門分野 情報教育の高度化に関する研究, 教育の情報化に関する研究およびICTを活用した先進的学習環境・教育システムに関する研究
担当 所属部門において専門分野の研究に従事し, 大学院教育を担当する。一般教育としての情報教育を担当する。本センターの情報システムの企画・管理・運用およびセンターの運営等関連業務を担当する
応募資格 次の要件をすべて満たす方: 博士の学位 (外国において授与されたこれに相当する学位を含む) を有する。情報教育の研究, ICTを活用した学習環境・教育システムに関する研究の実績を有する。情報教育および情報倫理教育の実績ならびに教育コンテンツの研究・開発の実績を有する。教育用の情報システム (コンピュータ, ネットワークおよび教育学習管理・支援システム等から構成される) の管理・運用の実績を有する。学会活動等社会貢献活動の実績を有する。大学院博士課程における教育・研究指導の実績 (授業担当, 主査あるいは副査等) または, これに相当する能力を有する
着任時期 平成22年10月1日 (予定)
提出書類 履歴書 (氏名, 国籍, 生年月日, 現住所, E-mail アドレス, 電話番号, 所属, 職名, 学歴, 職歴, 学位を記載のこと), 業績リスト (論文, 著書, 解説, 作品等。著者名, 発行所名, 発行年, ページ数等を明記する。論文は査読付きの有無を明記し, 著書, 解説, 作品等はその旨明記する), 主要業績5編の原著作物または複製物, 主要業績の説明および教育実績を含む研究・教育活動の概要, 教育用の情報システムの企画・管理・運用の実績の概要, 競争的資金の獲得状況 (代表・分担を明示する), 所属学会と役職等活動歴・その他社会貢献活動, 受賞歴・その他教育・研究活動および学会活動等社会貢献活動を評価できる資料, 将来の研究・教育に関する抱負と展望または応募の趣旨 (情報基盤センターの活動にどのように貢献するかという記述を含むこと), 所見を求め得る方2名以内の氏名と連絡先
応募締切 平成22年5月31日 17:00 (必着)
送付先 〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5 北海道大学企画部情報基盤課庶務担当
「メディア教育研究部門教授応募書類在中」と朱書し持参あるいは書留 (簡易書留) *原則として提出書類は返却しません
照会先 メディア教育研究部門 教授 岡部成玄 E-mail:okabe@ic.hokudai.ac.jp
その他 詳細はWebページ (<http://www.ic.hokudai.ac.jp/pdf/event27.pdf>) を参照ください

■神奈川工科大学情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 情報システム (アーキテクチャ, モデリング), データ工学
担当予定科目 情報システム概論, 分散データベース, ビジネス・アプリケーション など
応募資格 情報技術教育に熱意がある方, 博士号取得済みまたは取得見込みであることが望ましい
着任時期 平成22年9月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書・教育研究業績リスト (本学所定の書式), 主要論文別刷 (5編まで, コピー可), 教育および研究に対する抱負 (2000字程度), 2名以上の方からの推薦書 (または所見を求め得る方2名以上の氏名と連絡先)
*本学所定の書式については, 下記照会先へご連絡ください
応募締切 平成22年6月10日 (必着)
送付先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付 情報工学科教員選考委員長
「情報工学科教員応募」と朱書し必ず書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先 情報工学科 教授 松田三知子 E-mail:matsuda@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3213 (ダイヤルイン)

■長崎大学工学部

募集人員 准教授 1名
 所 属 電気情報工学講座(情報システム工学講座(情報システム工学分野))
 専門分野 音声情報処理, パターン情報処理, ネットワーク情報処理
 応募資格 博士またはPh.D.相当の学位を有する方, もしくは平成22年9月までに博士の学位を取得見込みの方
 着任時期 平成22年10月1日(予定)
 提出書類 履歴書(別記様式第2号), 研究業績リスト(別記様式第3号), 研究概要(別記様式第4号), 今後の教育研究に対する抱負(別記様式第5号), 獲得した外部資金リスト(別記様式第6号), 意見を聞くことができる方2名または3名の氏名と連絡先, 主要論文別刷(5編以内, コピー可)いずれも各1部
 *指定の様式第2~6号については次のURLからダウンロードのこと(<http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/offering/offering.html>)
 応募締切 平成22年6月14日
 送付先/照会先 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学工学部情報システム工学科 学科主任 喜安千弥
 E-mail:kiyasu@nagasaki-u.ac.jp Tel(095)819-2582(直通)「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留
 その他 詳細はWebページ(<http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/>)を参照ください
 応募の秘密は厳守します

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 コンピュータサイエンス専攻知識ソフトウェア科学講座
 専門分野 大規模離散計算機科学
 応募資格 博士の学位を有し, 教育および研究に熱意を持ち, 大規模離散計算機科学に関する世界的水準の研究を先導できる顕著な業績を持ち, 先駆的な大型研究プロジェクトを遂行する能力を有し, 同研究領域に関して十分な教育実績を有する方
 着任時期 平成22年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 現在までの研究歴と研究業績の概要, 主要論文別刷(5編, コピー可), 将来の教育と研究に対する展望と抱負, 今後の大学のあり方に関する所見, 推薦書2通(海外の研究者からの推薦書を含めることが望ましい)
 *詳細はWebページ(<http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/recruit.php>)を参照
 応募締切 平成22年7月12日(必着, 期限厳守)
 送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学大学院情報科学研究科事務室 総務担当
 照会先 コンピュータサイエンス専攻・知識ソフトウェア科学講座 田中 譲 E-mail:tanaka@meme.hokudai.ac.jp Tel(011)706-7250

■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名
 所 属 情報生体システム工学専攻
 専門分野 視覚情報工学分野(ヒューマンインタフェース, 認知心理学など)またはメディア情報工学分野(コンピュータビジョン, パターン認識など)
 応募資格 専門分野で博士の学位を有し, 専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方, また, グループ研究にも積極的に参画する意欲を持つ方
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 審査調書(詳細は, Webページ <http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/> <社会人, 一般の皆様へ>をご覧ください), そのほかに特記事項がある場合には該事項を記載した書類, 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年7月29日(必着)
 送付先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付) 選考委員長 川畑秋馬 「教員応募書類」と朱書し書留
 照会先 情報生体システム工学専攻 大塚作一 E-mail:otsuka@ibe.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8444
 その他 詳細はWebページ(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>)をご覧ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化
社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT にかかわる皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
準会員：小中高等学校の教職員、理事会が認めた海外居住の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

2010年

特集：社会に浸透する新たなコンピュータ/ネットワークの世界（1月号）、e-サイエンスを実現するグリッド技術（2月号）連載：情報処理技術遺産、他

2 電子図書館（BookPark）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

3 「連続セミナー」に会員価格（7,000円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2009年度は「進化する組込みシステム技術」をテーマに、6回の開催がありました。

4 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

ホット
トピックス

インターネット、Eビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディペンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNAコンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

5 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
(社) 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください!

【6月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからでも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5105.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたの意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2010年5月号) の記事はお役に立ちましたか、下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集: 情報処理技術の未来地図

1. 情報処理技術と学会の未来 10-1- []
2. 50年後の情報社会を支える IT 基盤 10-2- []
3. 法令工学: 安心な社会システム設計のための総合ソフトウェア科学 10-3- []
4. The Internet の行きつく先 10-4- []
5. 理論研究の役割 10-5- []
6. 言語・画像のデータ依存情報処理 10-6- []
7. 電子行政・総合科学・現代社会と教養・人材育成 10-7- []
8. コンピュータサイエンスはいかにして人類の未来に貢献するか 10-8- []
9. パターン認識・マルチメディア技術 10-9- []
10. 情報通信機器の現状と今後の技術開発 10-10- []
11. ヒューマンインタフェース技術の未来: HI は現在進行形 10-11- []
12. ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングによる近未来の暮らし 10-12- []
13. ユビキタスネットワークの未来 10-13- []
14. フライアブル・デバイス 10-14- []
15. ライフサポーターによる健康生活の実現 10-15- []
16. 氾濫するディスプレイと高品位伝送方法 10-16- []
17. 我々をとりまく情報社会と暗号危殆化のかかわり 10-17- []
18. 自律分散システムの高応答 I/O ノードの挑戦 10-18- []
19. ビジネス分野における業務要件の形式的検証技術 10-19- []
20. 大規模ソフトウェアの再利用を実現するリポジトリ・マイニング技術 10-20- []
21. 温室効果ガス排出量報告の XBRL による国際標準化の提案 10-21- []
22. 地球観測衛星システムに対する情報技術の活用 10-22- []
23. 主観的な価値に基づき進化成長する社会とビジネスの実現について 10-23- []
24. 自律的情報システムの開発と普及に向けた包括的取り組みのフレームワーク 10-24- []
25. 変革プロジェクトのジレンマエージェント・シミュレーション 10-25- []
26. 1つの希望としての IT 自立型中世社会モデル 10-26- []
27. 情報処理の未来地図 10-27- []

特集: 写真で綴る情報処理学会全国大会 50 年史

- 特別インタビュー
- 川合 慧氏 大切なのはアイデア 10-28- []
 - 竹内郁雄氏 全国大会は社会の窓 10-29- []
 - 和田英一氏 情報 + α の時代 10-30- []
 - 全国大会発表方法の移り変わり 10-31- []
 - 全大会 INDEX 10-32- []
 - 情報処理学会、これからの 50 年 白鳥則郎会長 10-33- []
 - 古機巡礼 / 二進伝心: 平成 21 年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式 10-34- []
 - 情報処理学会が日本将棋連盟に「コンピュータ将棋」で挑戦状 10-35- []
 - 記念大会を終えて 10-36- []
 - 最近の情報システム教育研究 10-37- []
 - "I" 見聞録: ウェブ学会 10-38- []
 - 出版物オンライン化の時代を迎えて 10-39- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入),その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
〔11-2〕 選んだ理由(下記から,いくつでも選択可)..... 11-2- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他(具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入),その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕 選んだ理由(下記から,いくつでも選択可)..... 12-2- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他(下記に具体的に記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について,その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想,著者への質問,今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

学会創立 50 周年を記念した本特集号の企画に着手したのは 2008 年初冬、約 1 年半の準備期間を経て、このたび、特集としてまとめることができました。この場をかりて、特集記事の執筆を快く引き受けてくださった招待論文のご執筆者の方々、公募論文に投稿して下さった方々にお礼を申し上げます。また、本記念号で編集長を交代される川合先生、未来地図プログラム委員長長の松原先生、委員の白木先生、中川様、間瀬様、会誌編集委員の皆様、事務局の皆様、特に特集を担当して下さった中村様、本当にありがとうございました。

最後に 50 年後の未来の読者へ

特集で予想した未来は実現されていますか？ この特集の各論文から、情報処理学会のこれまでの 50 年を誇りに思い、白鳥会長の論文にあるように「多様性を受容した共生社会」の創造に貢献すべく、研究、開発、業務、学会活動に取り組んでいることが伝わるでしょうか？ この思いが 50 年後の読者に届き、明るい未来になっていることを願っています。

(位野木万里／本特集エディタ)



次号 (6 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」新しい〇〇情報学

農業情報学／観光情報学／安全安心情報学／生命情報学／フィールド情報学／音楽情報学／健康情報学／人間情報学／エンタテインメント情報学

解 説

- OpenFlow の最新動向..... 西原基夫 他
- 細粒度気象センサネットワーク構築の実際～群馬県館林市の例～..... 戸辺義人 他
- 崩壊する周産期医療を救う IT 一分娩監視技術の開発から IT による遠隔医療の全国展開まで..... 原 量宏
- モバイルブロードバンドの最新動向..... 要海敏和

連 載

記述の科学

コラム

“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 51巻5号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表4 オーム社……………表2対向
- 三菱電機インフォメーションテクノロジー
 ……………表3
- すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.
(株) Fusic

ilovex

(株) アイロベックス

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima SONY

(株) うえじま企画

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375